

尾道市立向東中学校 第2学年英語科学習指導案

単元名：Rakugo in English

本単元で育成する資質能力：主体性・積極性，論理的思考力

指導者 尾道市立向東中学校

教諭 森 大樹

日時：令和2年12月15日（火）第5校時

学年・学級：2年1組30名（男子18名 女子12名）

場所：2年1組 教室

単元観

本単元は、光太とアレックスが英語落語を通して、海外に発信されている日本文化への理解を深めていく内容である。本単元で取り扱われているものは落語のみであるが、落語以外の日本の伝統文化や大衆文化（ポップカルチャー）が海外でどの程度浸透しているのかに触れるきっかけとなる題材である。この単元では、there is (are), there is (are)の疑問文、動名詞が導入されている。単元を通して、何かがあるのかを述べたり、読み取ったりすることができるようになる。また、趣味や特技をより具体的に伝えることや読み取ることもできるようになる。そこで、単元の終末には、複数の文章からALTのリクエストに合う情報を読み取り、それをALTの先生に伝える活動を計画していく。

これらのことを踏まえて、本単元では、中学校学習指導要領（平成29年度告示）解説外国語編の「読むこと」の「（イ）日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようになる」を指導の中心に位置づける。この単元では、一語一語や一文一文の意味を正確に理解して読み進めていくのではなく、必要な情報を取捨選択して読み進めていく技能や態度、理解できない部分があっても気にしない態度（曖昧さへの寛容性）を育てたい。本単元の指導の中心は「読むこと」であるが、単元の終末では読み取った情報をALTに伝えることも想定しているため、「話すこと」の「（ア）関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。」にも配慮をして指導を進めていく。

生徒観

まずは、本学年の生徒の英語に対するアンケート結果を見てもらいたい。

「英語が好きですか」		「英語が得意です」	
とてもそう思う	18%	とてもそう思う	5%
割とそう思う	31%	割とそう思う	29%
どちらでもない	31%	どちらでもない	17%
あまりそう思わない	7%	あまりそう思わない	24%
まったくそう思わない	13%	まったくそう思わない	25%

「英語が今よりもできるようになりたい」	
とてもそう思う	55%
割とそう思う	30%
どちらでもない	5%
あまりそう思わない	5%
まったくそう思わない	5%

「英語が好き」という質問に対して、「とてもそう思う」と「割とそう思う」と回答した生徒が約5割なのに対して、「英語が得意です」という質問では、「とてもそう思う」と「割とそう思う」を合わせた割合が3割程度にとどまっている。また、「英語が得意です」の質問に「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」と約5割の生徒が回答している。このことから、英語は好きではあるが、英語への苦手意識が大きいことが分かる。ただし、英語は苦手ではあるが、「英語ができるようになりたい」という質問に対しては、8割以上の生徒が肯定的な評価であり、英語学習に対してのモチベーションは高い。

次に、本単元の指導の中心である「読むこと」に対するアンケート結果である。

「英語を読むことが好き」		「英語を読むことが得意」	
とてもそう思う	15%	とてもそう思う	5%
割とそう思う	30%	割とそう思う	22%
どちらでもない	28%	どちらでもない	29%
あまりそう思わない	15%	あまりそう思わない	24%
まったくそう思わない	12%	まったくそう思わない	20%

	「1番好きな技能」	「1番苦手な技能」
「読むこと」	22%	4%
「聞くこと」	30%	22%
「話すこと」	8%	16%
「書くこと」	33%	23%
「話すこと（発表）」	7%	35%

本単元の指導の中心である「読むこと」は「1番苦手な技能」の選択肢の中でも4%であり、他の技能よりも苦手意識が低いことが分かる。しかし、「読むこと」への評価でも、「読むことが好き」の質問に対して、「とてもそう思う」と「割とそう思う」と回答した生徒が4割近くいるが、「読むことが得意」の質問では、「とてもそう思う」と「割とそう思う」を合わせた割合は3割を下回っている。「読むこと」への苦手意識は低いものの、「読むことが得意」への質問に対しての「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」の合計が約5割であることから、生徒は「読むこと」に一定の課題を抱えていると考えられる。アンケートの中で「読むこと」を一番好き、あるいは一番苦手に選んだ理由に以下のような記述が見られた。

「読むこと」を一番好きと選んだ生徒の記述

- 読んで理解することができたら、楽しいから。
- 文章を読んで意味が分かったときに嬉しいから。
- 単語の意味と表現を少しでも分かっていたら、中身が少しだけ分かるから。
- 英文を日本語に訳したり、意味を考えたりすると楽しいから。
- 自分のペースで読むことができるから。
- 話したり、発表したりすると間違えてしまったり、自分の思い通りにならないことがあるから。

「読むこと」を一番苦手と選んだ生徒の記述

- 日本語に訳すことが出来なくて、難しいから。
- 必要な情報などを全然読み取ることができないから。

生徒は英文の内容を理解することができることに喜びを感じている一方で、まったく読み進めることができない、どこに情報があるのかが分からないことへの課題を抱えている。これらの原因は語彙力の面だけではなく、読むこと＝正確に訳していくという考えを生徒が持っているからではないかと考えられる。

指導観

本単元では、複数の文章の概要を読み取り、必要な情報を探していくことを目指していく。単元の前半では、比較的短い文章の読み取りから始めていき、後半には文章の量や数などを増やす、あるいはALTが書いた文章を読むなど、様々な種類の英文で必要な情報を読み取ることを目標にしていく。また、単元の終末では、読み取った情報を伝えていく活動も実施していく。これらを行うにあたり、生徒は語彙や読むトピックに関しての語彙、あるいは文法に対しての知識不足、読むことに対しての考え方などが原因で「読むこと」に困難を抱えていることが考えられる。そこで、本単元では次の5つを重視して指導していく。

1. 本文の読み取りの際に、必要な情報のみを読み取る質問・発問を用意する。
2. 授業の導入で、基礎的な語彙・文法を増やす時間、スモールトークの時間を設ける。
3. マーカー等を用意して、読み取りの前後、あるいは読み取り中に重要な語句を確認させる。
4. スキミングやスキニングなど多様な読み方の（一部）に触れる。
5. 単元の前半に、最終的な目標を確認する。

単元の目標と評価規準

(1) 単元目標

- ・複数の文章の概要を読み取り、ALTのリクエストに合う情報を読み取ることができる。
(外国語理解の能力)

(2) 評価規準

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度【ア】	外国語表現の能力【イ】	外国語理解の能力【ウ】	言語や文化についての知識・理解【エ】
単元の評価規準	【ア-①】 必要な情報を読み取るために、下線やスラッシュ等を使い、工夫して読もうとしている。 【ア-②】 読む目的に合わせて、英文の概要や要点を捉えようとしている。	まとまりのある文章を読んで、自分の考えや気持ちを伝えることができる。	自分に必要な情報を英文から読み取り、文書の概要や要点を把握することができる。	【エ-①】 there is (are)の意味や使い方を理解している。 【エ-②】 動名詞の意味や使い方を理解している。

指導と評価の計画

(全10時間 本時 7/10)

営業	学習内容 (時数)	生徒に獲得させる 資質・能力	評 価	
			観 点	評 価 規 準 (評 価方法)
情報収集1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">課題の提示</div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ・複数の文章の概要を読み取り、マイケル先生のリクエストに合う情報を読み取ることができる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> お気に入りの場所に何があるのかをまとめることができる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ There is (are) の意味・用法に関する知識をおさえる。 ・ お気に入りの観光地についてまとめる。 		知	【エ-①】 (定期試験)
情報収集2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 落語がどのようなものか本文から読み取ることができる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ There is (are) の疑問文の意味・用法や答え方に関する知識をおさえる。 ・ 落語についての情報を教科書から読み取ることができる。 		知 関 理	【エ】 定期試験 【ア-②】 活動の観察 【ウ】 ワークシート
情報収集3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> お気に入りの場所で何ができるのか具体的にまとめることができる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動名詞の意味・用法に関する知識をおさえる。 ・ お気に入りの場所でできることを具体的にまとめ、英文にする。 	主体性・積極性	知	【エ-②】 定期試験
整理・分析1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 相手が書いたお気に入りの場所から興味のある情報を読み取ることができる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動名詞の使い方の復習 ・ 友達が書いた文章から自分の興味のある情報を探し出す。 ・ 興味のある情報について伝え合うことができる。 	主体性・積極性	知 理 表	【エ-②】 ワークシート 【ウ】【ア-②】 活動の観察 【イ】 活動の観察
情報収集4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 本文の中で最も主張したい部分を考えることができる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ there is (are) ・ 動名詞の復習 ・ 本文を読み取り、最も主張したい部分がどこかを考える。 ・ 教科書以外の別の文章でも行う。 	論理的思考力	知	【エ-①】 ワークシート 【ア-②】 ワークシート

情報収集5	<p>意味のかたまりを意識しながら本文を読むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意味のかたまりについて理解する。 教科書にスラッシュ等を書き込みながら本文の概要を理解する。 教科書以外の別の文章でも行う。 	<p>論理的思考力</p>	<p>【ア①】 活動の観察</p>
整理・分析2 本時	<p>マイケル先生のお気に入りの場所がどんな所か読み取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> マイケル先生が書いた文章の概要と興味がある部分を読み取る。 	<p>主体性・積極性</p>	<p>関 理 【ア①②】 活動の観察 【ウ】 ワークシート</p>
まとめ・創造・表現	<p>複数の文章から、マイケル先生のリクエストに合う情報を読み取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> A L T のリクエストに合う情報を複数の短文から探し出す。 探し出した情報をA L T に伝える。 	<p>主体性・積極性</p>	<p>関 理 【ア①②】 活動の観察 【ウ】 ワークシート</p>
まとめ・創造・表現2	<p>マイケル先生のリクエストに合う情報を理由を交えて伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ALT に合う情報をなぜその情報が適切なかを理由を交えて伝えることができる。 		<p>表 【イ】</p>
振り返り	<p>目的に応じた読み方を振り返ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> Unit6 の言語材料を復習する。 Unit6 で試した読み方を再度振り返る。 	<p>論理的思考力</p>	<p>知 【エ①②】 ワークシート</p>

本時の学習

- (1) 目標
マイケル先生のお気に入りの場所がどんな所か読み取ることができる。
- (2) 観点別評価規準

日常的な話題について書かれた文章から、文章全体の大まかな概要を捉えることができる。
(外国語理解の能力)

(3) 学習展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 (評価方法)	資質能力	
1 授業の雰囲気作り				
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> • Student Teacher (Small Talk 含む) • 2 mins input (基礎単語の練習) • Reading Marathon (音読練習) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇相手へのリアクションを大切に、英語の授業の雰囲気を作る。 ◆答え方のヒントを与える。 ◇自分に必要な練習を自分のペースで実施する。 ◇机間巡視を行い、発音・イントネーションの指導をおこなう。 ◆読めない単語があれば、挙手する。 		
2 本時のねらいの確認				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px;"> Today's' goal : マイケル先生のお気に入りの場所がどんな所か読み取ることができる。 </div>				
展開 33分	<ul style="list-style-type: none"> ○マイケル先生が書いた文章の概要をつかむ。 ○マイケル先生が書いた文章の中から自分の興味のある部分を精読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇読み取る前に英文の中に書いている情報を伝える。 ◇本文に簡単にメモやスラッシュ等を入れて読む。 ◆書かれている場所 (段落 or 行数) や使われている単語などのヒントを与える。 ◇自分にとって必要な情報にアンダーラインをする。 ◆書かれている場所 (段落 or 行数) や使われている単語などのヒントを与える。 	日常的な話題について書かれた文章から、文章全体の大まかな概要を捉えることができる。(観察)	主体性・積極性
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> マイケル先生が書いた文章の中にある情報 メインテーマ：マイケル先生のお気に入りの場所 (キャンパスについて) 書いている情報：Food, Nature, Sport (観戦) Sport (する), Reading </div>				
	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が興味を持った情報とその理由を伝える。 (ペア or 同じ部分を読んだグループ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇英文のレベルに応じて、概要を伝える活動を英語にするか、日本語にするのかを決定する。英語で行う際には、書いている英文を読みあげるだけにしない。 ◆教師がオーラルイントロダクションを行ったり、黒板に伝達するための表現を記入する。 ◆単語のみでの伝達をしたり、自分がチェックした部分を相手に見せるなどを行い情報を伝える。 質問部分は正確な文法を求めすぎないようにする。 		主体性・積極性

	<p>生徒の伝達の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> • I think restaurants are good because I want to eat many delicious food. • My favorite part is watching sports. Because I like baseball, so I want to go to that stadium. • Reading is good. I like comic books. 				
まとめ7分	<p>○マイケル先生が書いた文書の概要を全体で確認する。</p>	<p>◇書いている情報ごとに確認していくが、キーワードや短い文章で答えさせるようにする。 ◆プリントにメモを取らせる。</p>			
	3 本時の振り返りをする				
	<p>○振り返りシートにマイケル先生のお気に入りの場所について、にさらに尋ねたいこと、自分の読み方の良かった部分や課題を書く。 (※評価するのは読み取りの部分のみ)</p>	<p>◇今回の読み取りで自分の良かった所だけではなく、次回に向けてどのような課題があるかを考えさせる。 ◇自分が精読した部分に関して、 ◆キーワードとなる単語や文を記入させる。</p>			
<p>振り返りの評価の例（読み方部分）</p> <p>A評価： 必要な部分を読み取るために、関係ない部分は飛ばしたりすることができたし、線や丸なども使えた。ただ、文の量が増えると、どうしても内容が混乱してしまうので、もう少しメモの取り方とかを工夫していきたい。</p> <p>B評価： 必要な部分を読み取るために、キーワードになるような言葉を意識して読み進めていくことができた。</p> <p>C評価： マイケル先生のお気に入りの場所についてもっと知りたいと思った。マイケル先生の文章が読み取ることができなかった。</p>					
<p>マイケル先生への質問例</p> <ul style="list-style-type: none"> • What did you eat at the restaurant? • What is your favorite menu? • What sport do you like? • Do you like reading books? 					